

# 衆議院予算委員会ニュース

平成 20.1.29 第 169 回国会第 3 号

1 月 29 日、第 3 回の委員会が開かれました。

- 1 平成 19 年度一般会計補正予算（第 1 号）  
平成 19 年度特別会計補正予算（特第 1 号）  
平成 19 年度政府関係機関補正予算（機第 1 号）
- ・福田内閣総理大臣、増田総務大臣、鳩山法務大臣、高村外務大臣、額賀財務大臣、渡海文部科学大臣、舛添厚生労働大臣、若林農林水産大臣、甘利経済産業大臣、冬柴国土交通大臣、鴨下環境大臣、石破防衛大臣、大田国務大臣（経済財政政策担当大臣）及び政府参考人並びに参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。  
（参考人）日本銀行総裁 福井俊彦君
  - ・遠藤利明君（自民）、武正公一君（民主）、江田康幸君（公明）、笠井亮君（共産）及び阿部知子君（社民）が討論を行いました。
  - ・採決を行った結果、賛成多数をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。  
（賛成 - 自民、公明、国民 反対 - 民主、共産、社民）

（質疑者及び主な質疑内容）

## 斉藤 斗志二君（自民）

- ・世界経済フォーラム年次総会（ダボス会議）において福田内閣総理大臣が提唱した「クールアース推進構想」は、どのように推進していくのか。
- ・道路特定財源の暫定税率廃止による地方への影響について、増田総務大臣及び冬柴国土交通大臣はどのように考えるか。
- ・投機マネーにさらされないガソリン価格形成メカニズムの構築について、洞爺湖サミットにおいて提言するべきではないか。

## 小池 百合子君（自民）

- ・国会との関係で閣僚の国際会議への出席が困難となった場合、国益を損なう可能性があると思われるが、福田内閣総理大臣はどのように考えるか。
- ・普天間飛行場の移設、代替施設等について早期に結論を得るなど米軍再編を進めていかなければならないと考えるが、福田内閣総理大臣の考えはいかがか。
- ・地球温暖化対策を推進するために、温室効果ガスの国別総量目標を明確に設定し、各国が参加するよう、我が国として努力するべきではないか。

## 赤松 正雄君（公明）

- ・原油高の現状に対して大田国務大臣（経済財政政策担当大臣）はどのような認識を持ち、また今後の対応についてはどのように考えるか。

- ・医療制度改革について、プラスの側面も含めた全体像をしっかりと国民に示すべきだと思われるが、舛添厚生労働大臣はどのように考えるか。
- ・補正予算に計上されているアフリカの P K O センターへの支援の意図は何か。

## 西村 智奈美君（民主）

- ・いわゆる「つなぎ法案」を閣法ではなく議員立法として提出することは、国会軽視となるのではないか。
- ・道路特定財源を地球温暖化対策に使うのであれば、法の目的を改めるべきではないか。
- ・補正予算に計上される「緊要となった経費」について、額賀財務大臣はどう考えるか。
- ・後期高齢者医療制度に、なぜ激変緩和措置を設けたのか。

## 笠 浩史君（民主）

- ・まだ補正予算が審議されている段階で、いわゆる「つなぎ法案」が与党内で検討されていることについて福田内閣総理大臣はどう考えるか。
- ・道路の中期計画における事業量の積算根拠を明らかにすべきではないか。
- ・「道路の中期計画（素案）」において道路投資 1 兆円の経済効果が試算されているが、その検証は可能か。また、1 兆円の内訳はどうなっているのか。
- ・福田内閣総理大臣は、施政方針演説で、5 つの基本方針を掲げ、それを実行するには「人」が重要と述べたが、どのような決意で取り組んでいくか。

## 山井和則君(民主)

- ・道路特定財源の暫定税率延長に関して、いわゆる「つなぎ法案」を議員立法で提出しようという動きに対して、福田内閣総理大臣はどう考えるか。
- ・国土交通省の職員が、勤務時間中に道路特定財源の維持を求める署名活動を行っていたことについてどう考えるか。
- ・C型肝炎ウイルス検査に関する新聞折り込み広告が全世帯にいきわたるように再度出すべきではないか。また、民主党提出の特定肝炎対策緊急措置法案についてどう考えるか。

## 赤嶺政賢君(共産)

- ・沖縄戦の集団自決に係る記述に対する教科書検定問題について福田内閣総理大臣の対応についてお聞きしたい。
- ・沖縄住民が集団自決について旧日本軍による強制があったと発言しているのに、なぜ教科書に載っていないのかその理由について渡海文部科学大臣にお聞きしたい。
- ・教科書検定審査会において、集団自決の強制性については一定の結論は出なかったのに、なぜ記述が教科書から落とされているのか。
- ・教科書検定審査会の小委員会に、沖縄県史専門家が旧日

本軍の強制があったとの意見書を出しているが、審議でどのように取り扱われたのか。

## 保坂展人君(社民)

- ・オンライン化済みの旧台帳 1,365 万件の存在について政府はどのように認識しているか。
- ・仕分け方法、乱数表のような保管リストによる旧台帳の保管の仕方について舛添厚生労働大臣はどう考えるか。
- ・年金記録の突合作業をするために、旧台帳の有無が即時にわかるような管理方法の早急な整備について舛添厚生労働大臣はどう考えるか。
- ・平成 11 年度に 3,119 万件のうち 1,430 万件の紙台帳を廃棄したとのことだが、膨大な量の紙台帳を、いつ、どの場所で、どのように廃棄したのか。

## 糸川正晃君(国民)

- ・水道管の耐震化について、過去の予算委員会、厚生労働委員会では前向きな答弁をしているが、補正予算で何らかの措置はしたのか。
- ・災害時の病院、医師の確保も大切だが、水の確保も大切であり、水道施設の耐震化について福田内閣総理大臣はどう考えるか。